

ますはし

「見極めることはできない」

「人が労苦したところで、何の益があろうか。…神はすべてを時に適って麗しく造り、永遠を人の心に与えた。だが、神の行った業を人は初めから終わりまで見極めることはできない。」

(コヘレトの言葉 第3章9～11節・旧約聖書1022頁)

はじめに

コヘレト(説教者)であるソロモンは、神から空前絶後の知恵を与えられた人物です。聞き方によると、その知恵が「悩みを増す」原因となったととれるのですが、ソロモンの知恵はその人が賞賛されるような一般的な賢さではなく、その結果を見て、神をほめたたえずにはおれない神からの知恵であり、自分たちの生活に起こる諸問題を解決するためには、かえって悩みを深くする世の知恵を求めず、神の知恵に頼ることなのだ、そのためには神を畏れることが知恵の第一歩だと語り始めます。コヘレトが次に語った、重要なメッセージは何でしょうか。時とは何か

コヘレトは「すべてに時機があり、すべての出来事に時がある」(3:1)から語り始め、さまざまな場面に時があるのだと論じています。

「この時がある」は、例えば「花の種は何月に蒔かなければならない」のように、私たちが分別を持ってすべてをこなしていくけと言うのではなく、神がなされる「最善の時」を受け止めるようにと論じている箇所です。

気がつく私たちは「これをしなければ」「あれをしなければ」と気がせいてしまうようなめまぐるしい毎日を送っています。そしてそれがほとんどうまくいかず、また期限が迫ってきて、思い煩うことが多くなることの繰り返しです。現代人に悩み、思い煩いが多いのは、自分がこなさなければならないことが多い、つまり、すべて「時」があることが原因なのです。

思い煩うな

尾花美歌子師はよく「私は御摂理信者です」と言われていました。起こる出来事はすべて神の御心、御計画であると受け止める信仰生活を指しています。主イエスは「思い煩ってはならない。まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、すべて添えて与えられる」(マタイ6:33)と教えられていますが、ここに思い煩いを解決する方法、そしてコヘレトが伝えようとした思いがあるのです。

「時に適って麗しい」

私たちは世界をすべて自分でコントロールしていこうと思っただけではないでしょうか。確かに、自分がすべきことはあり、責任を果たすために働かなければなりません。しかし、実はそのこともすべて神の手の内にあるのです。すべての時を支配しておられるのは神です。そして、その神が私たちに与えておられる計画は、「災いの計画ではなく、将来と希望を与える平和の計画」(エレミヤ29:11)です。だから、すべてが時に適って麗しく実行されていく。それに異を唱えたり、時をコントロールしようと自分がしゃしゃりでたら、思い煩いが増えるのは当然です。人がすべてを見極めることなど不可能だからです。「神の国と神の義を求める」とは、「麗しい時」であることを理解し、信じることです。神に信頼し、なされることは最善であると受け止めましょう。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「人が労苦したところで、何の益があるか。私は、神が人の子らに苦勞させるよう与えた務めを見た。神はすべてを時に適って麗しく造り、永遠を人の心に与えた。だが、神の行った業を人は初めから終わりまで見極めることはできない。」(コヘレトの言葉 3:9～11)

「まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものはみな添えて与えられる。だから、明日のことを思い煩ってはならない。」(マタイによる福音書 6:33～34)

「あなたがたのために立てた計画は、私がよ

く知っている——主の仰せ。それはあなたがたに将来と希望を与える平和の計画であって、災いの計画ではない。」(エレミヤ書 29:11)



私はある時には「これをしなければ」「あれをしなければ」と思ってプレッシャーになり、またある時には将来に不安を感じ、どうしたらよいのだろうか、いつも思い煩っているように思います。しかし、コヘレトは「神はあなたの人生を麗しくしてくださっているのだから、

一切を主に委ねなさい」と諭してくださいました。感謝です。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (52) 第3章13節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「幸いな者とは知恵を見いだした人 英知にあずかった人。」

◎口語訳 「知恵を求めて得る人、悟りを得る人はさいわいである。」

◎新改訳 「幸いなことよ。知恵を見いだす人、英知をいただく人は。」

「幸いな者」

口語訳聖書では、「～人はさいわいである」と最後にきていますが、ヘブライ語の語順は「幸いな者」から始まっています。これは使われている語もそうですが、詩編第1編と同じで、「幸いな者、それは～のような人」と訳すことがよいと思います。「韻を踏んでいる」からです。その証拠に、この「幸いな者」は旧約聖書に45箇所出てくるのですが、そのうち、詩編には26箇所、そして箴言には8箇所と、集中して使われているのです。

ここでは「知恵を見いだした人」ですが、詩編ではどのように言われているのでしょうか。「主の教えを喜びとする人」(1)、「主のもとに逃れる人」(2, 34)、「罪を赦された者」(32)、「選ばれた者」(33, 65, 84)、「主を頼みとする人」(40, 84)、「弱い者を思いやる人」(41)、「神を力とする人」(84)、「喜びを知る人」(89)、「教えを受ける人」(94)、「正

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アグルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

義を行う人」(106)、「主を畏れる人」(112, 128)、「完全な道を行く人」(119)、「主の定めに従う人」(119)、「矢筒を矢で満たす人」(127)、「報復できる人」(137)、「主を神とする人」(144)、「神に望みを置く人」(146)、以上です。

つまり、さまざまな角度から語られていますが、そのすべてが知恵であり、そして、その知恵は「神とのつながり」によってのみ、効果が現れてくるのが分かります。幸いな者とは、神とつながることによって、ひとつひとつ得られていくのです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

民数記第15章2～3節「私があなたがたに与えて住ませる地に、あなたがたが入り、火による献げ物を主に献げるとき」◆民たちは約束の地に入る機会を失ったまま、38年間を過ごすこととなるのだが、神はここで約束の地に入った後のことを語られるのだ。約束の地を前にして、不信仰をあらわにした民、神を何度も裏切り、あなどり、信じない民だったわけだから、普通なら、「もうやめる」と約束を破棄したり、しばらく沈黙してしまうのではないか。ここに神の慈しみと憐れみの深さ、寛容さを感じる。

●賛美 / 263 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

民数記第16章35節「火が主のもとから出て、香を献げた二百五十人を焼き尽くした。」◆荒れ野の旅において最大の反逆事件だった。コラは出エジプト当初から指導的立場にあったが、モーセを批判し、一定の支持者がいると自負していたのか、あわよくばモーセに取って代わって民たちの上に立とうとした。だがそれは、モーセではなく、神への反逆であったことを彼は理解できなかったのだ。コラと共に250人が、そしてそれだけではなく、それを批判した1万5千人が神にさばかれてしまう(17:14)。主の権威をわきまえるべきである。

●賛美 / 264 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

民数記第17章23節「翌日、モーセが証しの幕屋に入ると、レビの家のアロンの杖が芽を吹き、つぼみを付け、花を咲かせ、アーモンドの実を結んでいた。」◆モーセが神の言葉に忠実に従う姿勢は、ある者には歯がゆかった。だが、その矛先をモーセに向ける愚かさによって、多くの者が滅んでしまった。そこで主は、これ以上、「選び」を疑わせないために部族の代表に杖を出させ、「私の選んだ人の杖には、芽が出る」と宣言される。果たして、アロンの杖は一晚にして芽吹いた。その後、神の主権を覚えるために、契約の箱におさめられたのだ。

●賛美 / 265 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

民数記第18章6節「あなたには私への献納物の管理を、すなわちイスラエルの人々が献げる聖なる献げ物の一切を任せ、そこからの取り分を、あなたとあなたの子らに与える。これは、とこしえの掟である。」◆祭司たちは、民たちが神に献げた「聖なる献げ物」の一部を受け取るように定められた。主のものを共有することでもたらされる主との交わりは、聖餐と同じ意味を持つ。主から裂かれた肉と流された血を受けることにより、主とつながり、命を共有することになる。「永久に受くべき分」として、私たちに与えられている恵みであることを覚えよう。

●賛美 / 266 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

民数記第19章12節「この灰の水で身を清めるならば、清くなる。しかし、もし三日目と七日目に身を清めないならば、清くならない。」◆死は罪の結果とされていたため、死体に触れた者は汚れた者とみなされた。そのために雌牛をほふり、焼かれた後の灰で作った水で三日目と七日目に念入りに清めなければならなかった。主の時代もこの戒めは生きていた。だが、主イエスが十字架からあろされた時、主イエスの葬ただれもが、この「きよめ」を行わなかった。三日目の主イエスの復活こそ、すべての罪をきよめるみわざであったからだ。

●賛美 / 267 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

民数記第20章12節「あなたがたは私を信じることをせず、イスラエルの人々の目の前に、私を聖としなかった。それゆえ、あなたがたは、私が彼らに与えた地にこの会衆を導き入れることはできない。」◆神から「岩に命じ」と言われたが、岩を2度たたいたことで「私が彼らに与えた地に導き入れることができない」と言われてしまう。神の処罰は厳し過ぎると思うだろうか。ではなぜモーセは神の声を聞き損なってしまったのだろう。自分たちをばかにし、騒ぐ民たちの前で、自分の権威を示したかったのだろう。どこまでもへりくだっていかなければならない。

●賛美 / 268 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

民数記第21章9節「モーセは青銅の蛇を造り、竿の先に掛けた。蛇が人をかんでも、その人が青銅の蛇を仰ぎ見ると、生き延びた。」◆この出来事は主イエスが尋ねてきたニコデモを導く際、ご自分の十字架を預言されて語られている。青銅の蛇を仰ぎ見るだけで良いのかと思った者もいたかもしれない。しかし、仰ぐとは、ただ見るだけではなく、信じて仰ぐことである。「信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである」（ヨハネ3:15）は、私の罪を背負われて十字架にかかられたことを信じ、十字架の主イエスを仰ぐことによって実現される。

●賛美 / 269 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやごでせいしよ

●きょうのせいしよ

【しゅつエジプトき 2:1~10】

「モーセのたんじょう」

(しへん 115:11)

たべるものがなくなってしまうとき、イスラエルのひとたちは かみさまの ふしぎなごけいかくによって エジプトに すむようになりました。でも、ほんとうは ひといきついたら じぶんの すんでいたばしょに もどらなければならなかったのです。ところが、すんでいた あれのとはおおちがいで、たべるものもたくさんあり、うしやひつじもよくそだちました。それで、かえるのを わすれてしまったのです。

ところが、エジプトのひとたちの たいどがおかしくなってきました。へいきで「よそも」というようになり、らんぼうになっていきました。それどころか、エジプトのおうさまがイスラエルのひとたちを じゃまにしはじめ、そして、とてもたいへんな しごとをおしつけるようになったのです。イスラエルのひとたち

は エジプトの ちに すまわせてもらっている ので、もんくを いえません。いつのまにか エジプトのくにで どれいになっていました。

しごとは とてもたいへんでした。まいにち つらい ひをすごしていた とき、イスラエルのひとたちは じぶんたちは かみさまの たみであることを おもいだしました。かみさまへの しんこうは ありませんでしたが、「かみさま たすけてください」とさげびはじめたのです。かみさまは あわれみぶかい かたです。しんじているのか、いないのか わからないような イスラエルの たみたちを すくうため、ちからづよいみてを うごかしはじめられたのです。

レビのいえに うまれたモーセは おかあさん やおねえさんの ちえのおかげで、いきのびただけではなく、エジプトのおうさまの いえに すむようになりました。かみさまの ごけいかくでした。そこで いろいろなことをべんきょうすることができ、そののち、80ねんほど たった エジプトを だっしゅつするとき やくだつことになるのです。

●かんがえてみよう

☆イスラエルのひとたちは エジプトで たのしくすごしていましたが。(しゅつエジプト1:11)

☆モーセを かくせなくなった とき、どうしましたか。(しゅつエジプト2:3)

☆モーセは だれに ひきとられたのですか。(しゅつエジプト2:10)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

み
お
か
ら
ひ
き
だ
し
た

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| き | だ | | | か | し | ず | ひ | み |
| | | | | | | か | ら | だ |
| か | ら | ず | み | ひ | だ | | た | |
| ず | し | か | た | み | ら | | だ | |
| | | | | | | た | か | ら |
| | | | | | | し | み | ず |
| み | | し | き | ら | た | だ | | か |
| た | か | き | | | | | | |
| | | | か | し | ひ | み | き | た |

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① みみずくのさしげ
- ② かるびすのぱご
- ③ かさつげん
- ④ いすぼう

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「鯉のぼり」

ゴールデンウィークはどこも混雑していました。でも、子どもがいると、その混雑を承知で人混みに突撃していかなければなりません。

「何百という鯉のぼりが泳いでいますよ」とのニュース映像が流れていましたが、ゴールデンウィークとして定番になっているので、各局は、その中でもダントツに数が多かったり、高い場所にあったりと他者とは違う絵を求めているようです。この辺では水郷田名の鯉のぼりが有名ですね。でも、

昔はよく見かけていた、庭先に柱を立てて鯉のぼりを泳がせている家がなくなりました。相模原は庭がなく、立てる場所はないですし、田舎では若い人がいないので、柱を立てられなくなっています。それに、あげたとしても子どもたちがいないし、こない。これが日本の現実です。いや、このような風物詩がなくなっているからでしょうか、学校でも鯉のぼりを作ることをしなくなったんじゃないでしょうか。鯉のぼり絶滅の危機ですね。

川の生き物ですから、聖書に鯉は登場してきません。もちろん、塩分は多いですが、ガリラヤ湖などの淡水域はあるので、鯉に近い種類は住んでいたと考えられます。聖書で「勢いのある動物」はやはり「馬」になりますかね。

聖書ふれあい街歩き

●ゴシェン

ナイル川のデルタ地帯はご存じだと思います。その東側にあったとされているのがイスラエルの移住地ゴシェンです。

たびたび氾濫はするものの、そのことによって肥沃で、農耕や牧畜に適していました。それこそ荒れ野に住んでいたイスラエルからしたら、天国のような場所だったのです。

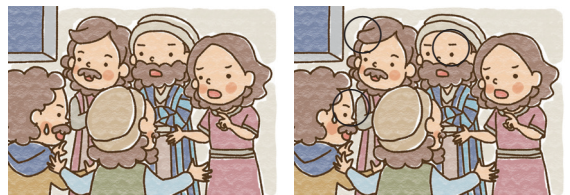
ファラオもヨセフの手前、良い場所を提供しなければならなかったのですが、ただ、やはり「よそ者（ヘブライ）」ですから、エジプト人に対して配慮し、直轄地ではなく、「郊外」を指定したと思われます。しかも、羊を飼うことはエジプト人が忌み嫌っており（創世記 46:34）、ヤコブたちも気に入ってくれましたし、ファラオもほっとしたことでしょう。

もう一つ。もしかすると、ファラオはゴシェンに住まわせ、東からの侵略の盾にしようとしていたかも知れません。アッシリアやバビロンなどからエジプトに進む際、ゴシェンは経路にあたります。そこにワンクッション置くことで、本国への侵入に手間がかかり、その間に、防衛軍を整えて、繰り出せるという計算があった。そんなことまで考えたら、ファラオに悪いでしょうが。

ななめ聖書 先週のこたえ

| | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ら | に | る | を | つ | ち | か | み | け |
| か | け | ち | み | に | る | つ | ら | を |
| み | を | つ | ら | か | け | ち | に | る |
| を | ら | に | ち | み | か | る | け | つ |
| る | か | け | つ | を | ら | み | ち | に |
| ち | つ | み | る | け | に | ら | を | か |
| に | み | か | け | ら | つ | を | る | ち |
| つ | ち | ら | に | る | を | け | か | み |
| ける | を | か | ち | み | に | つ | ら | |

- ①すべてじつげん
- ②やいたさかな
- ③ふしぎがる
- ④ひときれ



プリスキラとアキラ

パウロは、なお幾日もの間そこに滞在した後、きょうだいたちに別れを告げて、シリア州に向かって船出した。プリスキラとアキラも同行した。パウロは誓願を立てていたので、ケンクレアイで髪をそった。一行がエフェソに到着すると、パウロは二人をそこに残して自分だけ会堂に入り、ユダヤ人と論じ合った。人々はもうしばらく滞在するように願ったが、パウロは聞き入れず、「神の御心ならば、また戻って来ます」と言って、別れを告げ、エフェソから船出した。そして、カイサリアに到着してエルサレムに上り、教会に挨拶してから、アンティオキアに下った。

パウロはしばらくそこで過ごした後、また旅に出て、ガラテヤ地方やフリギア地方を次々に巡回し、すべての弟子たちを力づけた。

(使徒言行録18:18~23)



アキラ夫婦とパウロ

【同行した夫婦】

ユダヤ人同士の仲間割れに発展してしまったことにパウロは責任を感じていたかもしれません。「今後はユダヤ人には伝道しない」と啖呵を切っているものの、同胞であるユダヤ人の姿を見ながら、決して「ざまぁみろ」とは思っていなかったはずです。

そのことがあったからかどうかは分かりませんが、パウロはコリントから移動することを決意します。もちろん、聖霊の導きによるわけですが、シリア州へと向かうことにしました。なんと、その際、「プリスキラとアキラも同行」しています。

どのような店でもそうだと思うのですが、軌道に乗せるまでが大変です。申し上げたように、彼らが作っていたのはレジャーのためのキャンプ用品ではありません(この時代にはレジャーという考え方も存在していません)。ほとんどがローマから受注し、製作していた軍事用テントです。ローマ軍の関係者と知り合いになって初めて受注にこぎつけられるのですから、経営が成り立つまでは相当苦労したに違いありません。それをパツと投げ出してパウロについて行くのですから、ものすごい決断力です。

ここで注目したいのは、最初は「アキラ」「プリスキラ」の順で紹介されているのに、ここでは「プリスキラとアキラ」と、順番が逆になっています。性の壁がなくなってしまう現代ならばともかく、明らかに女性が下に見られている時代に、これは何か意味を含んでいると見なければなりません。

聖書の別の箇所を調べてみると、「プリスキラ

とアキラ」(18:26)、「プリスカとアキラ」(ローマ16:3)、「アキラとプリスカ」(コリント16:19)、「プリスカとアキラ」(テモテニ4:19)となっています。コリントに宛てた手紙だけ「アキラとプリスカ」になっていますが、これはコリントの人たちへの挨拶なので、アキラを最初に出したように思えます。要は、この部分で、信仰的な熱心さの度合いがこの順番を変えたのではないかと、私は推測しているわけです。

アキラは、どちらかという店をたたみたくなかった。けれどもプリスキラの熱心な信仰、献身が、その思いを押し切って、パウロとの同行を決断した。パウロやほかの人々もそのような事情を知っていたからこそこの(特にこの書を書き記したルカは)、「プリスキラとアキラ」だったのではないのでしょうか。

さまざまな方々を見てきましたが、結婚後に信仰を持たれた方で、奥さんが最初に信仰を持ち、その後でご主人が信仰に導かれるパターンは多くみられます。UE姉やIG姉のご主人たちも「祈り倒されるように」信仰を持っていきましたからね。ただ、その逆、ご主人が最初に信仰を持ち、そのあと奥さんが信仰に導かれたという例があまりないのは気がかりです。OB兄姉はあとから奥様が信仰を持ちましたが、OB兄よりも熱心な信仰者になられました(やっぱり女性が家の主でしょうか)。いずれにせよ、このような経験からしても、私は「絶対に」と言いたいくらい、プリスキラ主導で動き、アキラが後ろ髪を引かれるように、何度も何度も後ろを見ながらも、首根っこをつかまれ、引きずられるようにして船に乗り込んでいく姿を思い浮かべてしまいます。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

